

2012 5 8

地表温度の影響考慮

風速シミュレーション

九大が成功

【福岡】九州大学は7日、地表の温度による影響を考慮した風の流れのシミュレーションに成功

したと発表した。福岡市の天神地区や博多駅を含む中心市街地1520万

平方メートルが対象。このエリアに縦、横それぞれ4辺、高さ0・5メートルごとに区切り、それぞれの交点

の風速と風向をシミュレーションした。

また、結果のアニメーション化も行い、一般にも流れの様子を分かりやすく説明できるようにしている。

研究は福岡市の依頼を受け、環境GIS研究所（福岡市早良区）と共同で行った。2010年度

も同じ地域を対象にシミュレーションしたが、熱

は考慮しなかった。今回は建物や樹木のほか、8月1カ月間の日射量や舗装などを解析して盛り込んでいる。シミュレーション

結果は風力発電の設置検討やヒートアイランド対策、防災などに活用できるという。